

第48回 定時株主総会招集ご通知

株主総会会場のご案内図

開催日時 2025年4月15日(火曜日)
午後2時(開場 午後1時45分)

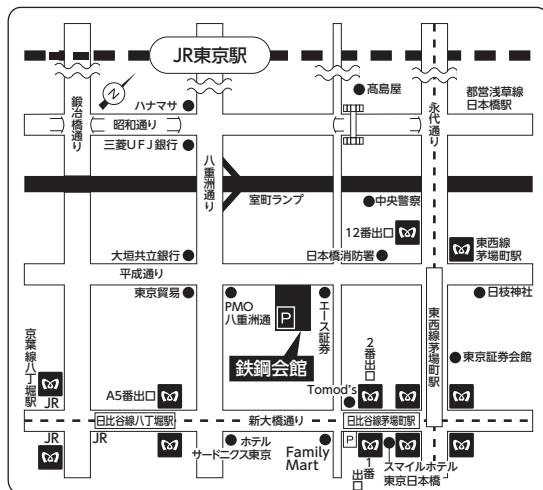
総会会場 東京都中央区日本橋茅場町
三丁目2番10号
鉄鋼会館8階会議室
(03)3669-4855

交通のご案内

- 地下鉄日比谷線茅場町駅下車
1番または2番出口(八丁堀方面) 徒歩約5分
- JR東京駅下車
八重洲口 徒歩約15分
- 地下鉄東西線茅場町駅下車
12番出口(日本橋消防署方面) 徒歩約5分
- 地下鉄日比谷線八丁堀駅下車
A5番出口(八丁堀交差点方面) 徒歩約5分

その他ご案内

- ・本株主総会にご出席の皆様へお土産(当社関連製品)をご用意する予定でございます
- ・株主総会終了後に「会社説明会」の開催を予定しております(開催時間は60分程度)



お知らせ

株主総会参考書類についてのご質問は、下記にてお受けいたしております。
なお、2025年4月11日(金曜日)までいただいたご質問については、株主総会にてお答えさせていただきます。

E-Mailアドレス: ir@people-kk.co.jp

株主の皆さまへ



子どもの好奇心が はじける瞬間をつくりたい！

私達の目は、子どもの関心を見逃さないために
耳は、子どもの本音をじっくり聴くために
頭は、子どもの表に出ない欲求を探るために
手足は、子どもの好奇心がはじける瞬間を実現するために
心は、子どもの未来を想像するために

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。第48回定時株主総会を次のとおり開催いたしますので、ここに招集ご通知をお届けいたします。

当社パーパス「子どもの好奇心がはじける瞬間をつくりたい」はピープル創業40有余年の企業価値の核心が表現されていると実感しており、私達は自分達の強みをより先鋭化して新たな成長期に向かうためにまず、パーパスと乖離する事業を手放す判断をしました。

この2025年を第2創業と位置づけ「好奇心事業」を本格始動し、向かう2027年にROE10%達成の目標に社員一同取り組んでまいります。また、ステークホルダーの皆様にご期待の多い情報発信をすることで我々の活動に期待して頂けるように努めていきます。株主の皆様には、今後ともご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ピープル株式会社

取締役兼代表執行役 桐渕真人

(証券コード 7865)
2025年3月21日
(電子提供措置の開始日2025年3月19日)

株 主 各 位

東京都中央区東日本橋二丁目15番5号
ピープル株式会社
取締役兼代表執行役 桐 渕 真 人

第48回定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ご支援いただいた株主の皆様へ、第48回定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご通知申し上げます。

本株主総会の招集に際しては電子提供措置をとっており、インターネット上の下記ウェブサイト
に電子提供措置事項を掲載しております。

当社ウェブサイト <https://www.people-kk.co.jp>
※上記のウェブサイト「IR情報」の「IR最新情報」をご確認ください。

東京証券取引所
ウェブサイト <https://www2.jpx.co.jp/tseHpFront/JJK010010Action.do?Show=Show>
(東証上場会社情報サービス) ※銘柄名(会社名)または証券コードを入力・検索し、「基本情報」「縦覧書類/PR情報」を順に選択のうえ、ご確認ください。

なお、当日のご出席に代えて、書面によって議決権を行使することができますので、株主総会
参考書類をご検討のうえ、同封の議決権行使書用紙に賛否をご表示いただき、2025年4月14日
(月曜日)午後6時までに到着するようご送付いただきたくお願い申し上げます。

敬 具

記

1. 日 時 2025年4月15日(火曜日)午後2時(開場 午後1時45分)
2. 場 所 東京都中央区日本橋茅場町三丁目2番10号
鉄鋼会館 8階会議室
3. 会議の目的事項 **報告事項** 第48期(2024年1月21日から2025年1月20日まで)
事業報告および計算書類報告の件
議決事項 議 案 取締役4名選任の件

以 上

- ~~~~~
- ※ 当日ご出席の際は、お手数ながら同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申し上げます。
 - ※ 議決権行使書面において、議案に賛否の表示がない場合は、賛成の意思表示をされたものとして取り扱わせていただきます。
 - ※ 計算書類の株主資本等変動計算書、個別注記表及び事業報告の業務の適正を確保するための体制につきましては、法令および定款第13条の定めにより、インターネット上の当社ウェブサイトに掲載しておりますので、本招集ご通知には記載して
おりません。なお、これらの事項は会計監査人及び監査委員会の監査対象となっております。
 - ※ 電子提供措置事項に修正が生じた場合は、上記各ウェブサイトにて修正内容を掲載させていただきます。
 - ※ 各ウェブサイトに掲載しております株主総会資料の文中に記載の頁番号はご送付しております書面と一致して
おりません。予めご了承ください。

株主総会におけるお子様のご来場について「こどもまんなか株主総会」 ～お子様やお孫様も一緒に会場内へご入場頂けます～

【株主様へのお願い】

当社のパーパスに関する向き合い方をぜひ株主の皆様にも実感いただきたいと考え「こどもまんなか株主総会」を開催することとし、本定時株主総会におきましても、株主様はお子様（未就学児対象）同伴でご来場いただくことができます。

過去2回いずれの開催でも多くの出席株主の方々にこの取組みが当社らしいと評価していただきました。本株主総会においても円滑な議事進行はもちろんのこと、お子様方への可能な限りのサポート体制、また例年よりも株主様と当社が調和できる議場へと整え臨んで参りますので、総会進行中におきましてお子様の多少の言動につきましては何卒ご寛容のほどお願い申し上げます。

お子様・お孫様のご同伴を希望される株主様へ

- ・ 対象のお子様：未就学児（6歳頃まで）。
- ・ 会場内にキッズプレイコーナーを設けております。
- ・ 別室におむつ替え・授乳スペースをご用意いたします。
- ・ ご要望がございましたら当社スタッフ（赤ちゃん研究所）が託児を承ります。
- ・ 会場内へのベビーカーのお持ち込みは可能です。

株主総会資料の電子提供制度に関するお知らせ

会社法の改正により電子提供制度が施行されておりますが、本株主総会におきましては、書面交付請求の有無に関わらず、議決権を保有する全ての株主様に従来どおりの株主総会資料をお送りしております。

議決権行使のご案内

当日ご出席の場合



株主総会開催日時

2025年4月15日（火曜日）午後2時

当日ご出席の際は、お手数ながら同封の議決権行使書用紙を会場受付へご提出ください。また、紙資源節約のため、本招集ご通知をご持参くださいますようお願い申し上げます。

当日ご出席されない場合



行使期限

2025年4月14日（月曜日）午後6時

お手数ながら後記株主総会参考書類をご検討くださいますと、同封の議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示いただき、行使期限までに到着するようご返送くださいますようお願い申し上げます。議決権行使書面において、議案に賛否の表示がない場合は、賛成の意思表示をされたものとして取り扱わせていただきます。

株主総会参考書類

議案および参考事項

議 案 取締役4名選任の件

取締役桐渕真人、森本美成、伊藤拓、藤本明徳の4氏は、本定時株主総会終結の時をもって任期満了となりますので、指名委員会の決定に基づき取締役4名の選任をお願いしたいと存じます。

取締役候補者は次のとおりです。

候補者番号				所有する当社の株式数……………	110,462株
1	きりぶち	まさと	1979年5月23日生（満45歳）	在任年数……………	8年
	桐渕	真人	男性	取締役会出席状況……………	13/13回

再任

【略歴、当社における地位、担当】

2005年3月	当社入社	2019年4月	当社取締役兼代表執行役就任
2016年1月	当社自転車事業部長就任		（現任）
2016年4月	当社執行役就任		現在に至る
2017年4月	当社取締役兼執行役就任		

取締役候補者とした理由

入社以来、当社事業全般の企画開発に携わり、代表執行役就任以降は既存概念に捉われない経営を牽引し、ステークホルダーとの対話により共創できる関係構築に努めております。当社の成長と業績の発展に資する者として期待し、引き続き取締役候補者となりました。

候補者番号

2

もりもと
森本

よしなり
美成

1947年12月14日生（満77歳）
男性

所有する当社の株式数…………… 1,000株
在任年数…………… 16年
取締役会出席状況…………… 13/13回

再任

【略歴、当社における地位、担当】

1970年4月	野村證券(株)入社	2003年6月	同社常勤監査役就任
1987年11月	同社外国株式部長就任	2006年6月	野村證券(株)顧問就任
1993年6月	日本合同ファイナンス(株) （現：ジャフコグループ(株)）	2008年1月	(株)エグゼクティブ・パートナーズ 理事就任（現任）
	取締役 投資本部長就任	2009年4月	当社社外取締役就任（現任）
2002年4月	同社専務取締役就任		現在に至る

社外

独立

社外取締役候補者とした理由および期待する役割

野村證券(株)および、ベンチャー・キャピタル、ジャフコグループ(株)での勤務を通じて、国内外企業の経営・育成に携わってきました。特に世界の経済市場の動向、金融の知識・経験も豊富で事業経営の知見を有した専門家として、当社経営の監視・監督に当たっていただくことを期待したためです。
同氏は現在当社の社外取締役であり、その就任期間は本定時株主総会終結の時をもって16年となります。

候補者番号

3

いとう
伊藤たく
拓1974年10月24日生（満50歳）
男性所有する当社の株式数…………… 一株
在任年数…………… 9年
取締役会出席状況…………… 13/13回

再任

[略歴、当社における地位、担当]

社外

2000年4月 弁護士登録 御堂筋法律事務所
(現：弁護士法人 御堂筋法律事
務所) 入所

2016年4月 当社社外取締役就任 (現任)

2016年6月 ㈱CDG社外監査役就任

2020年9月 ㈱ユーザーローカル社外取締役
(現任)
現在に至る

独立

2007年1月 弁護士法人 御堂筋法律事務所
社員 (現任)

[重要な兼職の状況]

弁護士法人 御堂筋法律事務所 弁護士

社外取締役候補者とした理由および期待する役割

グローバルな法律・経営など幅広い専門知識や経験をもって当社経営の監視・監督に当たっていただくとともに、海外展開をはじめ経営全般への助言指導をしていただくことに期待したためです。
同氏は現在当社の社外取締役であり、その就任期間は本定時株主総会終結の時をもって9年となります。

候補者番号

4

ふじもと
藤本あきのり
明德1954年4月20日生（満70歳）
男性所有する当社の株式数…………… 一株
在任年数…………… 2年
取締役会出席状況…………… 13/13回

再任

[略歴、当社における地位、担当]

社外

1988年10月 第二電電(株) (現：KDDI(株)) 入社

2015年12月 東京都労働委員会使用者委員
(非常勤) 就任

2004年4月 同社総務人事本部人事部長就任

2020年12月 ㈱ITCS(現：㈱COEL) 監査役就任
(現任)2007年10月 同社リスクマネジメント本部内部
統制部長就任

2023年4月 当社社外取締役就任 (現任)

2010年4月 同社理事 九州総支社長就任

2024年1月 J E K (同)代表社員就任 (現任)

2012年4月 KDDIエンジニアリング(株)出向

専務取締役経営管理本部長就任
現在に至る

独立

社外取締役候補者とした理由および期待する役割

KDDI(株)では内部統制部長としてKDDIグループ全体の内部統制制度を立ち上げるなど、コーポレートガバナンスの専門知識が豊富であり、当社課題である人的資本戦略やDX促進なども含めたコーポレート業務に関するエキスパートとして当社経営の監視・監督に当たっていただくことを期待したためです。
同氏は現在当社の社外取締役であり、その就任期間は本定時株主総会終結の時をもって2年となります。

- (注) 1. 候補者のうち、森本美成、伊藤拓、藤本明徳の各氏は会社法施行規則第2条第3項第7号に定める社外取締役候補者であります。
2. 当社は、森本美成氏、伊藤拓氏、藤本明徳氏を東京証券取引所が定める独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。各氏の再任が承認された場合、引き続き各氏を独立役員とする予定であります。
3. 再任の各候補者の担当は、事業報告の「取締役及び執行役の氏名等」に記載の通りです。
4. 当社は、森本美成氏、伊藤拓氏、藤本明徳氏との間で会社法第423条第1項の損害賠償責任について、法令が規定する額を限度とする責任限定契約を締結しております。各氏の再任が承認された場合、当社は当該契約を継続する予定であります。

【参考資料「取締役および執行役」スキル・マトリックス】

各氏に期待される専門性のうち、主なものに○印をつけております。

(2025年4月現在)

役職	氏名	専門性領域・経験						
		マーケティング・商品企画	企業経営・経営戦略	海外事業・生産管理	会計・財務	証券・金融知識	法務・リスク管理	ガバナンス
取締役兼代表執行役	桐 淵 真 人	○	○					○
社外取締役	森 本 美 成		○			○		
社外取締役	伊 藤 拓						○	○
社外取締役	藤 本 明 徳		○		○			○
執行役	小田桐 裕 子	○	○					
執行役	中 北 かとり		○	○				
執行役	飛 田 留美子		○		○			

以 上

事業報告

(2024年1月21日から2025年1月20日まで)

1. 会社の現況に関する事項

(1) 事業の経過及びその成果

■全般的概況

当事業年度における国内経済は、緩やかな回復傾向ではありますが、物価上昇により消費者の可処分所得が増えず、個人消費は依然として力強さを欠いており、先行きが不透明な状況は継続しております。

玩具市場規模の縮小も続いておりますが、その要因は大人（親）の生活行動と価値観の表層的な変化によるものと捉えており、それに対し、当社により子どもの好奇心という普遍的なニーズに応えた商品を効果的な情報発信と併せ、提供することで一気に成長方向に転じることができると確信しております。

当社は2022年より子どもの好奇心という根源的なテーマを徹底的に追求することで付加価値を生み出し、持続的に提供する「好奇心事業」を2025年にローンチする計画に取り組んでおります。

当社の国内の状況は、収益性が低く将来性が見込めないと判断した一部既存事業（お人形・幼児用自転車）撤退により、売上高大幅減の一方で、当期は利益率の向上に努め、売上総利益率は着実に改善に向かっております。

また、好調な構成玩具ピタゴラスシリーズを始めとした既存事業の定番品・新商品の売上伸長が撤退事業の売上減少を一定幅に抑えました。

次に海外の状況は、米国向け「Magna-Tiles」の米国販売代理店との契約内容変更（注）により前期との比較で大幅売上減となる一方で、アジア市場の内、台湾において知育玩具・構成玩具・ベビー用品の売上が堅調に推移しており、成長ポテンシャルの兆しを感じております。

この結果、当期国内販売売上高は前期比2割減、海外販売売上高は前期比9割減となり、国内海外の総合売上高は19億16百万円（前期比64.2%減）となりました。

売上高は大幅に減少したものの、既存品の値上げ実施や輸入コストの削減に向けた各施策が次第に功を奏したことで、為替の円安影響を受けながらも、原価率は改善し、売上原価率が前期比16.8%減と利益構造改革の成果が表れました。

経費では、2026年1月期ローンチを目指す新事業開発投資として調査・試作・外部協力費等、人件費含み3億2百万円を含む費用発生となりました。また、当期は既存ジャンルの発売点数を絞り、さらに経費全体を圧縮し、人的リソースを新事業開発へ集中いたしました。

そして営業外収益として受取配当金など4百万円を計上した他、特別利益としてもものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金25百万円を計上いたしました。

以上の結果、営業損失は50百万円（前期は4億31百万円の営業利益）、経常損失は45百万円（前期は4億49百万円の経常利益）、当期純損失は72百万円（前期は3億13百万円の当期純利益）となりました。

（注）（海外販売代理店との契約変更について）

2024年1月以降、「Magna-Tiles」はディストリビューターと生産工場との直接取引となり、当社は当社が保有するIPのロイヤリティ収入を得る形に変更になりました。当社には、これまで大きくリソースを割いていた新商品開発や中間手配の業務がなくなること、また会社売上全体の粗利益率が改善されることの2つのメリットがある一方、売上高が大幅に減少するというデメリットが発生しました。

■カテゴリー別概況

（カテゴリー別売上高 前期対比）

（単位：千円）

	2024年1月期 （自 2023年1月21日 至 2024年1月20日）	2025年1月期 （自 2024年1月21日 至 2025年1月20日）	前期比 （%）
乳児・知育・構成玩具（注1）	1,568,541	1,503,818	95.9
ドール・メイキングトイ（注2）	251,903	49,606	19.7
その他（遊具・乗り物・育児等）（注3）	321,893	141,821	44.1
海外販売	3,210,510	220,382	6.9
合 計	5,352,847	1,915,624	35.8

（注）1. 旧「乳児・知育玩具カテゴリー」。

2. 2024年1月期はお人形シリーズ（ぼぼちゃんシリーズ）を含んでおります。

3. 「その他」には2024年1月期まで別掲しておりました「屋内遊具・乗り物カテゴリー」を含んでおります。そのため、2024年1月期の数値も組み替えております。

(2) 設備投資等の状況

当事業年度の設備投資金額は、24百万円で、その内訳は次の通りとなっています。

金型・製版	21百万円
工具器具備品	3百万円

なお、金型・製版および工具器具備品について2億36百万円（取得価額）の除却を行っています。

(3) 資金調達の状況

当事業年度において、新株式発行および社債発行等の資金調達は行っておりません。

(4) 財産及び損益の状況の推移

区 分	第 44 期 (2021年1月期)	第 45 期 (2022年1月期)	第 46 期 (2023年1月期)	第 47 期 (2024年1月期)	第 48 期 (2025年1月期)
売 上 高 (千円)	4,478,125	5,481,309	7,443,860	5,352,847	1,915,624
営業利益又は 営業損失 (△) (千円)	490,347	510,365	517,919	430,518	△49,515
経常利益又は 経常損失 (△) (千円)	475,116	495,696	513,150	449,134	△45,181
当期純利益又は 当期純損失 (△) (千円)	329,094	343,479	355,675	312,879	△72,002
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失 (円)	75.23	78.52	81.31	71.53	△16.46
総 資 産 (千円)	2,673,833	2,785,147	3,013,543	2,767,580	2,299,596
純 資 産 (千円)	2,244,239	2,311,346	2,328,562	2,394,933	2,128,054

(注) 1. 個別業績の推移を記載しております。

2. 「収益認識に関する会計基準」等を第46期の期首から適用しており、第46期以降に係る損益の状況については、当該会計基準等を適用した後の状況となっています。

(5) 対処すべき課題

■これまでの経緯

当社にとって重要な経営課題のひとつとして収益性改善が挙げられます。その根本的な原因は、様々な外部環境の変化により創業当初のビジネスモデルが機能せず、他社との価格競争にさらされ、強みである商品力の高さが販売に繋がられていないことだと分析しています。

そのため2019年以降、下記のようなステップで中長期的な視点で改革を行っています。

(1) 選択と集中のための軸となる「パーパス」の制定 (2019~2022年)

創業から現在に至る経緯を分析し、長期的価値を生み出す源泉となる強みを掘り出し、パーパス「子どもの好奇心がはじける瞬間をつくりたい!」を制定しました。

(2) 選択と集中の実行 (2023~2024年)

パーパスを元に2025年ローンチを目指す「好奇心事業プロジェクト」および「赤ちゃん研究所」を始動し、そこにリソースを集中する一方、収益性が低く将来性が見込めないロングセラーシリーズを終了させました。

2025年は第2創業として、3年がかりで準備してきた好奇心事業をローンチし、新たな成長路線へとシフトするステップに進みます。

(注) 1. 上記の西暦表示は暦年です。

次期第49期 (2026年1月期) の課題

次期第49期は具体的に以下の課題に取り組みます。

1. 利益成長に向けた3つのアプローチを実行
 - (1) 当社定番ロングセラー商品シリーズの周年イベント実施によるリブランディング
 - (2) 好奇心事業第一弾「1curiosity (ワンキュリオシティ)」シリーズの日本・英国同時発売
 - (3) 新たな海外販売ルート (東南アジア) 開拓を開始
2. 価値ある情報発信
人財を集約し、ステークホルダー別に担当チームを組織し、発信力を強化して自社ブランディングを強力に進める
3. 好奇心事業を第二段階に進めるため、2027年以降ローンチ計画のプロジェクト立ち上げ

(6) 重要な関係会社の状況

① 子会社の状況

2019年12月2日付けで解散決議をいたしました米国子会社People Toy Company, Inc.につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響等に伴い、米国での会社閉鎖登記手続きが遅れておりましたが、当期、当該手続きが完了したことから、期末日現在、子会社は存在していません。

② その他の会社の状況

名 称	当社への議決権所有割合 (%)	当該関係会社の株式が上場されている証券取引所等
株式会社バンダイナムコホールディングス	20.30	東京証券取引所プライム市場

(注) 上記の議決権所有割合につきましては当事業年度末日現在の議決権総数を基礎として算出しています。

当社は、2005年より株式会社バンダイナムコホールディングスの持分法適用会社となりました。バンダイナムコグループに属してはおりますが、経営につきましては独立性を保ち、指名委員会等設置会社として所有および監視と、事業計画立案および経営を明確に分離させた体制で、従来どおり事業を継続いたしております。

(7) 主要な事業内容

当社は幼児玩具・遊具の企画開発ならびに販売を営んでおり、生産については外部委託により行っております。

(8) 主要な事業所

本 社 東京都中央区東日本橋二丁目15番5号

(9) 従業員の状況

従業員数	前事業年度末比増減 (△)	平均年齢	平均勤続年数
45名	△6名	40歳10ヶ月	13年6ヶ月

- (注) 1. 当事業年度末員数を記載しております。
2. 上記のほか、派遣社員が6名おります。

(10) 主要な借入先

該当事項はありません。

2. 会社の株式に関する事項

(1) 発行可能株式総数	普通株式	18,000,000株
(2) 発行済株式総数	普通株式	4,437,500株
(3) 株 主 数		4,447名

(注) 株主数は単元未満株式を保有する株主を含んでおります。

(4) 大 株 主

株 主 名	持 株 数	持 株 比 率
株式会社バンダイナムコホールディングス	888,000	20.30
萩原雄二	198,600	4.54
桐 渕 真 人	110,462	2.53
桐 渕 千 鶴 子	100,000	2.29
松 波 省 一	93,100	2.13
株式会社三菱UFJ銀行	93,000	2.13
桐 渕 英 人	80,769	1.85
梅 田 泰 行	60,000	1.37
横 田 真 子	50,369	1.15
J P モルガン証券株式会社	48,900	1.12

(注) 当社は、自己株式63,352株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は発行済株式の総数から自己株式を控除して計算しております。

(5) 株 価 の 推 移

	寄値 (円)	高値 (円)	安値 (円)	引値 (円)	出来高 (千株)	株主数 (名)
2020年1月21日～2021年1月20日	1,151	1,343	601	1,162	2,804	4,195
2021年1月21日～2022年1月20日	1,160	1,236	986	1,002	2,138	4,670
2022年1月21日～2023年1月20日	995	1,907	930	1,139	7,839	5,671
2023年1月21日～2024年1月20日	1,139	1,146	953	996	5,278	4,913
2024年1月21日～2025年1月20日	995	1,127	490	518	2,848	4,447

3. 会社の新株予約権等に関する事項

当社役員が保有する職務執行の対価として交付された新株予約権等の内容の概要

該当事項はありません。

4. 会社役員に関する事項

(1) 取締役及び執行役の氏名等

地 位	氏 名	担 当	重要な兼職先法人等名	兼職の内容
取締役兼代表執行役	桐 淵 真 人	経営全般 指名委員	弁護士法人 御堂筋法律事務所	弁護士
社 外 取 締 役	森 本 美 成	監査委員 指名委員 報酬委員		
社 外 取 締 役	伊 藤 拓	監査委員 指名委員 報酬委員		
社 外 取 締 役	藤 本 明 徳	監査委員 指名委員 報酬委員		
執 行 役	小田桐 裕 子	企画及び 事業部全般		
執 行 役	中 北 かとり	生産及び 事業部全般		
執 行 役	飛 田 留美子	財務及び 事業部全般		

- (注) 1. 取締役森本美成、伊藤拓、藤本明徳の3氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。なお、当社は森本美成、伊藤拓、藤本明徳の3氏を(株)東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届出ております。
2. 当社は、監査委員会の職務を補助するものとして取締役及び使用人による事務局を設置し、重要会議への出席等を通じて情報の収集を行うほか、執行役及び使用人から定期的にヒアリングを行い、監査の実効性を確保していることから、常勤の監査委員を設置していません。
3. 執行役 小田桐裕子は2024年1月より休職をしております。

(2) 責任限定契約の内容の概要

当社と各社外取締役は、会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結しております。

当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、法令の定める最低責任限度額としております。

(3) 役員の報酬状況

① 取締役及び執行役ごとの報酬等の総額

区分	執行役兼務 社内取締役		社外取締役		執行役		合計		摘要
	支給人員	支給額	支給人員	支給額	支給人員	支給額	支給人員	支給額	
報酬委員会 決議に基づく 報酬	名 1	千円 20,000	名 3	千円 10,800	名 2	千円 26,000	名 6	千円 56,800	会社法第409条第3項第1号の決議内容に基づく報酬額です。

- (注) 1. 期末現在の在籍人員は、取締役兼代表執行役1名、社外取締役3名、執行役3名であります。
 2. 執行役 小田桐裕子は休職のため2024年1月より役員報酬の支給を停止しています。
 3. 取締役兼代表執行役については、執行役兼務社内取締役に含めて記載しております。
 4. 上記表の執行役支給額には、確定拠出年金の拠出金を含んでおります。

② 個人別の報酬等の額

(単位：千円)

氏名	2025年1月期		
	報酬委員会決議に基づく報酬		
	固定報酬	業績連動報酬	合計
取締役兼代表執行役 桐 洸 真人	20,000	—	20,000
社外取締役 森 本 美 成	3,600	—	3,600
社外取締役 伊 藤 拓	3,600	—	3,600
社外取締役 藤 本 明 徳	3,600	—	3,600
執行役 小田桐 裕 子	—	—	—
執行役 中 北 か と り	13,000	—	13,000
執行役 飛 田 留 美 子	13,000	—	13,000

- (注) 1. 2025年1月期の固定報酬は2024年4月12日の報酬委員会で決議し、業績連動報酬は2025年1月10日の報酬委員会で不支給と決議しました。
 2. 執行役 小田桐裕子は休職のため2024年1月より役員報酬の支給を停止しています。

(4) 取締役及び執行役の報酬等の額の決定に関する方針

① 決定の方法

報酬委員会が毎年、取締役及び執行役の報酬等の決定に関する方針を定め決定しています。

② 具体的方針

取締役は執行役に対して独立性を保つ必要があります。そのため、執行役と取締役を兼務する社内の取締役と、社外取締役とは分けて考えます。

社外取締役の報酬は、当社に生活を依存しない範囲の相応な固定金額とし、業績連動型とはしないものとします。

執行役兼務取締役については、執行役としての任務に対し報酬を支払うこととし、取締役としての報酬金額は、「ゼロ」とします。

執行役の責務は取締役から委任を受け、継続可能な株主利益の拡大を追求することです。従って、執行役の報酬は、前期の業績等を勘案して決定する個人別の固定報酬に、株主利益に連動した業績連動の変動報酬を加算することとし、個人別報酬を取り決めます。

執行役に対する業績連動の変動報酬については、経営指標として掲げている「自己資本利益率（ROE）10%以上」の達成を支給対象のガイドラインとする算定式を用いて金銭支給とし、法人税法第34条第1項第3号に定める利益連動給与に該当する役員報酬を支給することとしています。

具体的な算定式につきましては、2023年4月13日開催の報酬委員会において2024年1月期以降の業績連動役員報酬の算定方法を下記の通りといたしました。

a) 当期のROE（※）が10%を超えた場合を支給対象とします。

b) 算定の都合上、役員・従業員の賞与の損金計上前の財務諸表を基に、当期ROE（以下、暫定ROEと言う）を算出します。

暫定ROEを算定指標として以下の場合に応じ、それぞれに掲げる算定方法で支給額を決定します（1万円未満四捨五入）。

i. 当期ROE（※）が10%以上15%以下の場合、以下の算定式によりそれぞれの支給額を算出し、これを上限として決定します。

$$\text{代表執行役の変動報酬} = (\text{暫定ROE} \times 100) \times 1,300,000 - 13,000,000$$

$$\text{執行役の変動報酬} = (\text{暫定ROE} \times 100) \times 900,000 - 9,000,000$$

ii. 当期ROE（※）が15%以上の場合、以下の算定式によりそれぞれの支給額を算出し、これを上限として決定します。

$$\text{代表執行役の変動報酬} = (\text{暫定ROE} \times 100) \times 1,500,000 - 16,000,000$$

$$\text{執行役の変動報酬} = (\text{暫定ROE} \times 100) \times 1,100,000 - 12,000,000$$

なお、支給総額の上限金額は44,000千円とします。

※実際に発表される当期ROE（自己資本利益率）は、業績連動役員報酬および従業員賞与を損金計上後の当期の通期財務諸表に基づき算出された指標となります。

なお、2025年1月10日開催の報酬委員会において、当期は上記基準に満たなかったため、執行役に対する報酬は固定報酬のみとし、業績連動報酬の支給は行わないことを決定しました。

- ③ 当事業年度に係る取締役および執行役の個人別の報酬等の内容が決定方針に沿うものであると報酬委員会が判断した理由

取締役及び執行役の個人別の報酬等の額の決定にあたっては、報酬委員会が決定方針との整合性も含め総合的に検討を行っており、決定方針に沿うものであると判断しております。

(注) 個人別報酬額については「個人別の報酬等の額」(15ページ)をご参照ください。

(5) 社外役員に関する事項

- ① 重要な兼職先である法人等と当社との関係
兼職先と当社の間には特別な関係はありません。
 - ② 当該事業年度における主な活動の状況
 - ・取締役会への出席状況
社外取締役全3名は在任期間中に開催された当年度の取締役会全13回に出席しました。
 - ・監査委員会への出席状況
監査委員会に所属した社外取締役全3名は、在任期間中に開催された当年度の監査委員会全3回に出席しました。
- (注) 当社は指名委員会等設置会社のため、役員の任期は1年となっております。したがって取締役会および監査委員会への出席状況の集計は2024年4月度より2025年3月度までとしています。
- ・取締役会および監査委員会における発言状況および社外取締役が果たすことが期待される役割に関して行った職務の概要

取締役（監査委員兼務）森本美成氏は、主に経営診断の専門家としての見地から意見を述べるなど、取締役会および監査委員会の意思決定の妥当性・適正性を確保するための助言・提言を行っております。

取締役（監査委員兼務）伊藤拓氏は、主に法律の専門家の見地から意見を述べるなど、取締役会および監査委員会の意思決定の妥当性・適正性を確保するための助言・提言を行っております。

取締役（監査委員兼務）藤本明德氏は、主にコーポレート業務に関するエキスパートとして意見を述べるなど、取締役会および監査委員会の意思決定の妥当性・適正性を確保するための助言・提言を行っております。

5. 会計監査人に関する事項

(1) 名称 ふじみ監査法人

(注) 2024年4月12日開催の第47回定時株主総会において、新たにふじみ監査法人が当社の会計監査人に選任されたことに伴い、当社の会計監査人であった有限責任 あずさ監査法人は退任いたしました。

(2) 報酬等の額

① 公認会計士法第2条第1項の業務（監査証明業務）の対価として支払うべき報酬等の額
17,000千円

(注) 1. 会計監査人の報酬等について監査委員会が同意した理由は当社監査委員会が、会計監査人の当事業年度の監査項目別監査時間及び過年度の監査計画と実績の状況を確認し、検討した結果、会計監査人の報酬等は監査品質を保つために必要な合理的な水準であると判断し、同意を行っております。
2. 当社と会計監査人との間の監査契約において、会社法に基づく監査と金融商品取引法に基づく監査の監査報酬等の額を明確に区分しておらず、実質的にも区分できませんので、合計額を記載しております。

② 当社が会計監査人に支払うべき金銭その他の財産上の利益の合計額
17,000千円

(3) 非監査業務の内容

該当事項はありません。

(4) 会計監査人の解任または不再任の決定の方針

当社都合の場合の他、会計監査人が会社法・公認会計士法等の法令に違反・抵触した場合及び公序良俗に反する行為があったと判断した場合、監査委員会は、その事実に基づき当該会計監査人の解任または不再任の検討を行い、解任または不再任が妥当と判断した場合は、会計監査人の解任または不再任を株主総会の付議議案とすることを取締役会に上程します。

6. 業務の適正を確保するための体制

(1) 監査委員会の職務の執行のため必要なものとして法務省令で定める事項についての取締役会の決議の内容

- ① 監査委員会の職務を補助すべき取締役及び使用人に関する事項
監査委員会が必要とした場合に、監査委員会の職務を補助する取締役及び使用人による事務局を置くこととします。
- ② 前号の取締役及び使用人の執行役からの独立性に関する事項
前号の事務局に属する取締役及び使用人の任命、異動、評価等については、事前に監査委員会の意見を聴取するものとし、執行役はこれを尊重します。
- ③ 執行役及び使用人が監査委員会に報告をするための体制その他の監査委員会への報告に関する体制
 - a. 執行役及び使用人は、監査委員会から業務執行に関する事項の報告を求められた場合には、速やかに報告を行わなければならないものとします。
監査委員会は、必要に応じて、執行役及び使用人から説明・報告を求めることができます。
 - b. 執行役は、会社に著しい損害を及ぼすおそれのある事実を発見した時は、直ちに、監査委員会に当該事実を報告することを規定した執行役会規程を制定しています。
 - c. aに関し、監査委員会に当該事実を報告したことを理由として報告した者が不利益な扱いを受けないよう内部通報制度運用規程に明記し、管理することとします。
 - d. 監査委員会は、会計監査人と定期的に協議を行い、適時報告を受けます。
- ④ 監査委員の職務の執行について生ずる費用又は債務の処理に係る方針に関する事項
当社の監査委員から、その職務の執行について、費用の前払、支出した費用及び利息の償還、負担した債務の債権者に対する弁済等が請求された場合には、監査委員の職務の執行に不要であることが明らかでない限り、速やかにその請求に応じます。
- ⑤ その他監査委員会の監査が実効的に行われることを確保するための体制
 - a. 代表執行役および会計監査人は、それぞれ監査委員と適宜会合を持ち、当社が対処すべき課題、監査委員会による監査の環境整備の状況、監査上の重要課題等について意見を交換し、代表執行役、会計監査人および監査委員の間で相互認識を深めます。
 - b. 監査委員は、執行役等の職務の執行の監督の目的から、経営にかかわる重要な会議に出席する機会を、また必要に応じて、議事録・会議資料等を閲覧する機会を与えられます。

(2) 執行役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制、その他株式会社の業務並びに当該株式会社及びその子会社から成る企業集団の業務の適正を確保するために必要なものとして法務省令で定める体制の整備についての取締役会の決議事項の内容

- ① 執行役の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制
執行役は執行役会の議事について、議事録を作成し、議長並びに出席執行役がこれに署名押印し、取締役から閲覧の請求があった場合はそれに応じることを規定した執行役会規程を制定しています。
- ② 損失の危険の管理に関する規程その他の体制
執行役は、会社に著しい損害を及ぼすおそれのある事実を発見した時は、直ちに、監査委員に当該事実を報告することを規定した執行役会規程を制定しています。
- ③ 執行役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制
 - a. 経営の監督機能（取締役会）と業務執行機能（執行役）を分離し、執行役への大幅な権限委譲を行うことで、業務執行のスピードを向上させます。
 - b. 執行役の職務分掌、指揮命令系統、決裁権限等に関する規定を整備し、それらの明確化と周知徹底をします。
 - c. 全執行役で構成する執行役会議を定期的開催し、効率性、有効性、妥当性などの検証を経て、業務執行に関する重要事項を決定します。
- ④ 使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制
社員は法令違反の隠蔽、意図的違反の議決、内部機密事項の漏洩が行われることを発見した時は、直ちに監査委員会または外部機関に当該事実を報告しなければならない旨を、従業員服務規律に定めています。

(3) 業務の適正を確保するための体制の運用状況の概要

当期の主な運用状況は以下のとおりです。

- ① 執行役及び使用人が監査委員会に報告をするための体制、その他の監査委員会への報告に関する体制
監査委員会は会計監査人による会計監査報告会を2回開催しました。
- ② その他監査委員会の監査が実効的に行われることを確保するための体制
策定した内部監査計画に基づき、当社の内部監査を実施しました。
- ③ 執行役の業務の施行に係る情報の保存及び管理に関する体制
執行役の職務の執行に係る文書が「文書管理規程」に定められており、確実に運用されています。
- ④ 執行役の職務執行が法令、定款に適合することを確保するための体制
 - a. 各執行役は、取締役会に報告すべき事項を自ら取締役会で報告しており、常勤取締役は、業績検討会・執行役会等の重要な会議に出席し、監督的視点から執行役の業務執行状況を把握・助言を行っています。
 - b. 全執行役で構成する執行役会を月1回開催し、効率性、有効性、妥当性などの事前調査と確認を経て、業務執行に関する重要事項に関して議論し決定しています。

7. 株式会社の支配に関する基本方針

該当事項はありません。

8. 剰余金の配当等の決定に関する基本方針

① 利益配分に関する基本方針

既製品の持続性が弱く、かつ、新製品の成否が予測し難い業種であり、それゆえに「持続性」を最重視した経営に徹しています。しかし、消費者ニーズが流動的なのは避けがたく、株式上場以来、当期の業績を基準とした配当政策を方針としております。

配当額の実体案は配当可能な剰余金の0から100%までの範囲で次の要素を勘案の上、決定しています。

- 1) 剰余金の額
- 2) 為替、有価証券の評価損益
- 3) 適切な信用力を維持できる財務内容の確保
- 4) 資金需要の状況
- 5) 自己株式の買入れの有無とその額

② 当期の配当について

上記方針を踏まえ、当期は当期純損失の結果を以て、無配の決議をさせていただきました。業績回復を優先課題として邁進し、早急な復配を目指してまいります。

	第 44 期 (ご参考) 2021年 1月期	第 45 期 (ご参考) 2022年 1月期	第 46 期 (ご参考) 2023年 1月期	第 47 期 (ご参考) 2024年 1月期	第 48 期 2025年 1月期
1株当たり配当額 (円)	60.00	78.00	58.00	48.00	—
配当総額 (千円)	262,453	341,189	253,701	209,959	—
配当利回り (%)	5.16	7.78	5.09	4.82	—
自己資本比率 (%)	83.9	83.0	77.3	86.5	92.5

~~~~~  
(注) 本事業報告中の記載金額及び株式数は、表示単位未満の端数を四捨五入で表示しております。

## 貸借対照表

(単位：千円)

| 科 目            | 期 別 | 2025年1月期<br>(2025年1月20日現在) |               | 2024年1月期 (ご参考)<br>(2024年1月20日現在) |               |
|----------------|-----|----------------------------|---------------|----------------------------------|---------------|
|                |     | 金 額                        | 構成比           | 金 額                              | 構成比           |
| <b>資 産 の 部</b> |     |                            |               |                                  |               |
| <b>流 動 資 産</b> |     |                            |               |                                  |               |
| 現金及び預金         |     | 1,968,800                  | 85.6%         | 2,487,866                        | 89.9%         |
| 売掛金            |     | 1,441,110                  |               | 1,823,498                        |               |
| 商品             |     | 212,187                    |               | 371,379                          |               |
| 前払費用           |     | 263,024                    |               | 277,461                          |               |
| 未収消費税          |     | 1,661                      |               | 769                              |               |
| その他当金          |     | 277                        |               | 3,253                            |               |
| 貸倒引当金          |     | 9,442                      |               | 10,400                           |               |
| 固定資産           |     | 17,455                     |               | —                                |               |
| 有形固定資産         |     | 27,073                     |               | 2,482                            |               |
| 建物             |     | △3,429                     |               | △1,375                           |               |
| 器具器具備品         |     | <b>330,796</b>             | <b>14.4%</b>  | <b>279,714</b>                   | <b>10.1%</b>  |
| 建設仮勘定          |     | <b>53,023</b>              | <b>2.3%</b>   | <b>23,380</b>                    | <b>0.8%</b>   |
| 無形固定資産         |     | 99                         |               | 133                              |               |
| 電話加入権          |     | 13,072                     |               | 14,584                           |               |
| ソフトウェア         |     | 39,852                     |               | 8,664                            |               |
| ソフトウェア仮勘定      |     | <b>36,005</b>              | <b>1.6%</b>   | <b>17,587</b>                    | <b>0.6%</b>   |
| 投資その他の資産       |     | 698                        |               | 698                              |               |
| 投資有価証券         |     | 7,807                      |               | 16,889                           |               |
| 関係会社株式         |     | 27,500                     |               | —                                |               |
| 繰延税金資産         |     | <b>241,768</b>             | <b>10.5%</b>  | <b>238,747</b>                   | <b>8.6%</b>   |
| 保証金・敷金         |     | 28                         |               | 28                               |               |
| 保険積立金          |     | 161,881                    |               | 140,143                          |               |
|                |     | —                          |               | 18,368                           |               |
|                |     | 27,244                     |               | 27,593                           |               |
|                |     | 52,615                     |               | 52,615                           |               |
| <b>資 産 合 計</b> |     | <b>2,299,596</b>           | <b>100.0%</b> | <b>2,767,580</b>                 | <b>100.0%</b> |

(注) 千円未満の金額は、四捨五入して表示しております。

(単位：千円)

| 科 目             | 期 別 | 2025年1月期<br>(2025年1月20日現在) |               | 2024年1月期 (ご参考)<br>(2024年1月20日現在) |               |
|-----------------|-----|----------------------------|---------------|----------------------------------|---------------|
|                 |     | 金 額                        | 構成比           | 金 額                              | 構成比           |
| <b>負債の部</b>     |     |                            |               |                                  |               |
| <b>流動負債</b>     |     | <b>132,822</b>             | <b>5.8%</b>   | <b>372,647</b>                   | <b>13.5%</b>  |
| 買掛金             |     | 22,594                     |               | 36,874                           |               |
| 未払費用            |     | 52,700                     |               | 32,088                           |               |
| 未払法人税等          |     | 35,761                     |               | 93,548                           |               |
| 未払消費税等          |     | 3,237                      |               | 120,008                          |               |
| 前受金             |     | —                          |               | 55,978                           |               |
| その他の            |     | 5,767                      |               | 16,550                           |               |
|                 |     | 12,763                     |               | 17,600                           |               |
| <b>固定負債</b>     |     | <b>38,719</b>              | <b>1.7%</b>   | —                                | —%            |
| 繰延税金負債          |     | 38,719                     |               | —                                |               |
| <b>負債合計</b>     |     | <b>171,542</b>             | <b>7.5%</b>   | <b>372,647</b>                   | <b>13.5%</b>  |
| <b>純資産の部</b>    |     |                            |               |                                  |               |
| <b>株主資本</b>     |     | <b>2,022,978</b>           | <b>88.0%</b>  | <b>2,304,939</b>                 | <b>83.3%</b>  |
| 資本金             |     | 238,800                    | 10.4%         | 238,800                          | 8.6%          |
| 資本剰余金           |     | 162,705                    | 7.1%          | 162,705                          | 5.9%          |
| 資本準備金           |     | 162,700                    |               | 162,700                          |               |
| その他資本剰余金        |     | 5                          |               | 5                                |               |
| <b>利益剰余金</b>    |     | <b>1,655,834</b>           | <b>72.0%</b>  | <b>1,937,795</b>                 | <b>70.0%</b>  |
| 利益準備金           |     | 59,700                     |               | 59,700                           |               |
| その他利益剰余金        |     | 1,596,134                  |               | 1,878,095                        |               |
| 圧縮積立金           |     | 16,144                     |               | —                                |               |
| 別途積立金           |     | 1,000,000                  |               | 1,000,000                        |               |
| 繰越利益剰余金         |     | 579,991                    |               | 878,095                          |               |
| 自己株式            |     | △34,362                    | △1.5%         | △34,362                          | △1.2%         |
| 評価・換算差額等        |     | 105,076                    | 4.6%          | 89,994                           | 3.3%          |
| その他有価証券評価差額金    |     | 105,076                    |               | 89,994                           |               |
| <b>純資産合計</b>    |     | <b>2,128,054</b>           | <b>92.5%</b>  | <b>2,394,933</b>                 | <b>86.5%</b>  |
| <b>負債・純資産合計</b> |     | <b>2,299,596</b>           | <b>100.0%</b> | <b>2,767,580</b>                 | <b>100.0%</b> |

(注) 千円未満の金額は、四捨五入して表示しております。

# 損 益 計 算 書

(単位：千円)

| 科 目                        | 2025年1月期<br>(自 2024年1月21日<br>至 2025年1月20日) |        | 2024年1月期 (ご参考)<br>(自 2023年1月21日<br>至 2024年1月20日) |        |
|----------------------------|--------------------------------------------|--------|--------------------------------------------------|--------|
|                            | 金 額                                        | 百 分 比  | 金 額                                              | 百 分 比  |
| 売 上 高                      | 1,915,624                                  | 100.0% | 5,352,847                                        | 100.0% |
| 売 上 原 価                    | 1,007,967                                  | 52.6%  | 3,715,389                                        | 69.4%  |
| 売 上 総 利 益                  | 907,656                                    | 47.4%  | 1,637,458                                        | 30.6%  |
| 販売費及び一般管理費                 | 957,172                                    | 50.0%  | 1,206,941                                        | 22.5%  |
| 営業利益又は営業損失 (△)             | △49,515                                    | △2.6%  | 430,518                                          | 8.0%   |
| 営 業 外 収 益                  |                                            |        |                                                  |        |
| 受 取 利 息                    | 164                                        |        | 130                                              |        |
| 受 取 配 当 金                  | 2,855                                      |        | 3,260                                            |        |
| 為 替 差 益                    | —                                          |        | 4,882                                            |        |
| 受 取 保 険 金                  | —                                          |        | 8,961                                            |        |
| そ の 他                      | 1,425                                      | 0.2%   | 1,383                                            | 0.3%   |
| 営 業 外 費 用                  |                                            |        |                                                  |        |
| 為 替 差 損                    | 109                                        |        | —                                                |        |
| そ の 他                      | 0                                          | 0.0%   | 0                                                | 0.0%   |
| 経常利益又は経常損失 (△)             | △45,181                                    | △2.4%  | 449,134                                          | 8.4%   |
| 特 別 利 益                    |                                            |        |                                                  |        |
| 事 業 譲 渡 益                  | —                                          |        | 2,754                                            |        |
| 補 助 金 収 入                  | 24,602                                     | 1.3%   | —                                                | 0.1%   |
| 税引前当期純利益又は<br>税引前当期純損失 (△) | △20,579                                    | △1.1%  | 451,888                                          | 8.4%   |
| 法人税、住民税及び事業税               | 992                                        |        | 131,157                                          |        |
| 法 人 税 等 調 整 額              | 50,431                                     | 2.7%   | 7,851                                            | 2.6%   |
| 当期純利益又は当期純損失 (△)           | △72,002                                    | △3.8%  | 312,879                                          | 5.8%   |

(注) 千円未満の金額は、四捨五入して表示しております。

## 株主資本等変動計算書

2025年1月期 (自 2024年1月21日 至 2025年1月20日)

(単位：千円)

|                         | 株 主 資 本 |           |                 |               |
|-------------------------|---------|-----------|-----------------|---------------|
|                         | 資 本 金   | 資 本 剰 余 金 |                 |               |
|                         |         | 資 本 準 備 金 | そ の 他 資 本 剰 余 金 | 資 本 剰 余 金 合 計 |
| 2024年1月21日残高            | 238,800 | 162,700   | 5               | 162,705       |
| 事業年度中の変動額               |         |           |                 |               |
| 剰余金の配当                  |         |           |                 |               |
| 圧縮積立金の積立                |         |           |                 |               |
| 当期純損失(△)                |         |           |                 |               |
| 株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額) |         |           |                 |               |
| 事業年度中の変動額合計             | —       | —         | —               | —             |
| 2025年1月20日残高            | 238,800 | 162,700   | 5               | 162,705       |

|                         | 株 主 資 本   |                 |               |          |               |
|-------------------------|-----------|-----------------|---------------|----------|---------------|
|                         | 利 益 剰 余 金 |                 |               |          |               |
|                         | 利 益 準 備 金 | そ の 他 利 益 剰 余 金 |               |          | 利 益 剰 余 金 合 計 |
| 圧 縮 積 立 金               |           | 別 途 積 立 金       | 繰 越 利 益 剰 余 金 |          |               |
| 2024年1月21日残高            | 59,700    | —               | 1,000,000     | 878,095  | 1,937,795     |
| 事業年度中の変動額               |           |                 |               |          |               |
| 剰余金の配当                  |           |                 |               | △209,959 | △209,959      |
| 圧縮積立金の積立                |           | 16,144          |               | △16,144  | —             |
| 当期純損失(△)                |           |                 |               | △72,002  | △72,002       |
| 株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額) |           |                 |               |          |               |
| 事業年度中の変動額合計             | —         | 16,144          | —             | △298,105 | △281,961      |
| 2025年1月20日残高            | 59,700    | 16,144          | 1,000,000     | 579,991  | 1,655,834     |

|                         | 株 主 資 本 |             | 評 価 ・ 換 算 差 額 等         |                     | 純 資 産 合 計 |
|-------------------------|---------|-------------|-------------------------|---------------------|-----------|
|                         | 自 己 株 式 | 株 主 資 本 合 計 | そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金 | 評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計 |           |
| 2024年1月21日残高            | △34,362 | 2,304,939   | 89,994                  | 89,994              | 2,394,933 |
| 事業年度中の変動額               |         |             |                         |                     |           |
| 剰余金の配当                  |         | △209,959    |                         |                     | △209,959  |
| 圧縮積立金の積立                |         | —           |                         |                     | —         |
| 当期純損失(△)                |         | △72,002     |                         |                     | △72,002   |
| 株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額) |         |             | 15,082                  | 15,082              | 15,082    |
| 事業年度中の変動額合計             | —       | △281,961    | 15,082                  | 15,082              | △266,879  |
| 2025年1月20日残高            | △34,362 | 2,022,978   | 105,076                 | 105,076             | 2,128,054 |

(注) 千円未満の金額は、四捨五入して表示しております。

2024年1月期（ご参考）（自 2023年1月21日 至 2024年1月20日）

（単位：千円）

|                             | 株 主 資 本 |           |                 |               |
|-----------------------------|---------|-----------|-----------------|---------------|
|                             | 資 本 金   | 資 本 剰 余 金 |                 |               |
|                             |         | 資 本 準 備 金 | そ の 他 資 本 剰 余 金 | 資 本 剰 余 金 合 計 |
| 2023年1月21日残高                | 238,800 | 162,700   | 5               | 162,705       |
| 事業年度中の変動額                   |         |           |                 |               |
| 剰余金の配当                      |         |           |                 |               |
| 当期純利益                       |         |           |                 |               |
| 株主資本以外の項目の事業<br>年度中の変動額（純額） |         |           |                 |               |
| 事業年度中の変動額合計                 | —       | —         | —               | —             |
| 2024年1月20日残高                | 238,800 | 162,700   | 5               | 162,705       |

|                             | 株 主 資 本 |                              |               |               |         |             |
|-----------------------------|---------|------------------------------|---------------|---------------|---------|-------------|
|                             | 利益準備金   | 利 益 剰 余 金                    |               |               | 自 己 株 式 | 株 主 資 本 合 計 |
|                             |         | そ の 他 利 益 剰 余 金<br>別 途 積 立 金 | 繰 越 利 益 剰 余 金 | 利 益 剰 余 金 合 計 |         |             |
| 2023年1月21日残高                | 59,700  | 1,000,000                    | 818,917       | 1,878,617     | △34,362 | 2,245,760   |
| 事業年度中の変動額                   |         |                              |               |               |         |             |
| 剰余金の配当                      |         |                              | △253,701      | △253,701      |         | △253,701    |
| 当期純利益                       |         |                              | 312,879       | 312,879       |         | 312,879     |
| 株主資本以外の項目の事業<br>年度中の変動額（純額） |         |                              |               |               |         |             |
| 事業年度中の変動額合計                 | —       | —                            | 59,179        | 59,179        | —       | 59,179      |
| 2024年1月20日残高                | 59,700  | 1,000,000                    | 878,095       | 1,937,795     | △34,362 | 2,304,939   |

|                             | 評 価 ・ 換 算 差 額 等         |                     | 純 資 産 合 計 |
|-----------------------------|-------------------------|---------------------|-----------|
|                             | そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金 | 評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計 |           |
| 2023年1月21日残高                | 82,802                  | 82,802              | 2,328,562 |
| 事業年度中の変動額                   |                         |                     |           |
| 剰余金の配当                      |                         |                     | △253,701  |
| 当期純利益                       |                         |                     | 312,879   |
| 株主資本以外の項目の事業<br>年度中の変動額（純額） | 7,192                   | 7,192               | 7,192     |
| 事業年度中の変動額合計                 | 7,192                   | 7,192               | 66,371    |
| 2024年1月20日残高                | 89,994                  | 89,994              | 2,394,933 |

（注）千円未満の金額は、四捨五入して表示しております。

## 個別注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

### 1. 有価証券及びデリバティブの評価基準及び評価方法

その他有価証券

市場価格のない株式等以外のもの

時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）

市場価格のない株式等

移動平均法による原価法

デリバティブ

時価法

### 2. 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品、原材料（部品）

移動平均法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）

### 3. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産（リース資産を除く）

定率法によっています。ただし、2016年4月1日以後に取得した建物付属設備及び構築物については、定額法によっています。なお、耐用年数は以下のとおりです。

建物……………8～47年

工具器具備品

事務用器具……3～15年

金型等……………2年

無形固定資産（リース資産を除く）

定額法を採用しています。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づいております。

#### 4. 引当金の計上基準

##### 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については、貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を検討して回収不能見込額を計上しております。

#### 5. 収益及び費用の計上基準

当社の顧客との契約から生じる主要な事業における主な履行義務の内容及び当該履行義務を充足する通常の時点（収益を認識する通常の時点）は次のとおりであります。

当社は、幼児玩具の企画・開発及び販売を主要業務としております。商品の販売については、商品を顧客に引き渡した時点で顧客が当該商品に対する支配を獲得し、履行義務が充足されると判断しております。

ただし、国内販売において、出荷時から当該商品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の期間である場合は、出荷時に収益を認識しております。

また、顧客との契約において約束された対価から値引き及びリベート等を控除した金額で測定しております。

ロイヤリティ収入は、知的財産のライセンスに関連した商品にかかる契約相手先の仕入高又は売上高を算定基礎として測定し、その発生時点を考慮して履行義務の充足を判断し、その発生に応じて収益を認識しております。

#### 6. 重要なヘッジ会計の方法

##### (1) ヘッジ会計の方法

繰延ヘッジ処理を採用しております。

##### (2) ヘッジ手段とヘッジ対象

ヘッジ手段……………為替予約

ヘッジ対象……………外貨建金銭債務及び外貨建予定取引

##### (3) ヘッジ方針

デリバティブ取引については、先物為替予約取引に限定しており、主に為替の変動リスクを回避するために、将来の棚卸資産の購入計画の範囲内で行っております。

##### (4) ヘッジの有効性評価の方法

為替予約取引については、ヘッジ手段とヘッジ対象取引に関する重要な条件が同一であり、為替相場変動を完全に相殺できると認められるため、もしくは、実行の可能性が高い将来の予定取引に基づくものであるため、ヘッジの有効性の判定は省略していません。

(貸借対照表に関する注記)

1. 有形固定資産の減価償却累計額

| 2025年1月期<br>(2025年1月20日現在) | 2024年1月期 (ご参考)<br>(2024年1月20日現在) |
|----------------------------|----------------------------------|
| 564,764千円                  | 775,705千円                        |

(損益計算書に関する注記)

1. 通常の販売目的で保有する棚卸資産の収益性の低下による簿価切下額

| 2025年1月期<br>(自 2024年1月21日<br>至 2025年1月20日) | 2024年1月期 (ご参考)<br>(自 2023年1月21日<br>至 2024年1月20日) |
|--------------------------------------------|--------------------------------------------------|
| 売上原価 22,514千円                              | 売上原価 33,091千円                                    |

2. 関係会社との取引高

| 2025年1月期<br>(自 2024年1月21日<br>至 2025年1月20日) | 2024年1月期 (ご参考)<br>(自 2023年1月21日<br>至 2024年1月20日) |
|--------------------------------------------|--------------------------------------------------|
| 営業取引以外の取引による取引高<br>受取配当金 2,855千円           | 受取配当金 3,260千円                                    |

(株主資本等変動計算書に関する注記)

2025年1月期 (自 2024年1月21日 至 2025年1月20日)

1. 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

|       | 2025年1月期<br>期首株式数 (株) | 2025年1月期<br>増加株式数 (株) | 2025年1月期<br>減少株式数 (株) | 2025年1月期<br>期末株式数 (株) |
|-------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 発行済株式 |                       |                       |                       |                       |
| 普通株式  | 4,437,500             | —                     | —                     | 4,437,500             |
| 合計    | 4,437,500             | —                     | —                     | 4,437,500             |
| 自己株式  |                       |                       |                       |                       |
| 普通株式  | 63,352                | —                     | —                     | 63,352                |
| 合計    | 63,352                | —                     | —                     | 63,352                |

2. 配当金に関する事項

(1) 配当金支払額

| 決議                    | 株式の種類 | 配当金の総額    | 1株当たり配当額 | 基準日        | 効力発生日      |
|-----------------------|-------|-----------|----------|------------|------------|
| 2024年3月11日<br>決算取締役会議 | 普通株式  | 209,959千円 | 48.00円   | 2024年1月20日 | 2024年4月15日 |

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの  
該当事項はありません。

2024年1月期（ご参考）（自 2023年1月21日 至 2024年1月20日）

1. 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

|       | 2024年1月期<br>期首株式数（株） | 2024年1月期<br>増加株式数（株） | 2024年1月期<br>減少株式数（株） | 2024年1月期<br>期末株式数（株） |
|-------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 発行済株式 |                      |                      |                      |                      |
| 普通株式  | 4,437,500            | —                    | —                    | 4,437,500            |
| 合計    | 4,437,500            | —                    | —                    | 4,437,500            |
| 自己株式  |                      |                      |                      |                      |
| 普通株式  | 63,352               | —                    | —                    | 63,352               |
| 合計    | 63,352               | —                    | —                    | 63,352               |

2. 配当金に関する事項

(1) 配当金支払額

| 決議                    | 株式の種類 | 配当金の総額    | 1株当たり配当額 | 基準日        | 効力発生日      |
|-----------------------|-------|-----------|----------|------------|------------|
| 2023年3月13日<br>決算取締役会議 | 普通株式  | 253,701千円 | 58.00円   | 2023年1月20日 | 2023年4月14日 |

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

| 決議                    | 株式の種類 | 配当金の総額    | 配当の<br>原資 | 1株当たり<br>配当額 | 基準日        | 効力発生日      |
|-----------------------|-------|-----------|-----------|--------------|------------|------------|
| 2024年3月11日<br>決算取締役会議 | 普通株式  | 209,959千円 | 利益<br>剰余金 | 48.00円       | 2024年1月20日 | 2024年4月15日 |

(税効果会計に関する注記)  
繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

|                           | 2025年1月期<br>(2025年1月20日) | 2024年1月期 (ご参考)<br>(2024年1月20日) |
|---------------------------|--------------------------|--------------------------------|
| (繰延税金資産及び繰延税金負債の主な原因別の内訳) |                          |                                |
| 繰延税金資産                    |                          |                                |
| 税務上の繰越欠損金                 | 55,620千円                 | —                              |
| 貸倒引当金                     | 1,050千円                  | 421千円                          |
| 商品評価損                     | 7,149千円                  | 10,184千円                       |
| 関係会社株式評価損                 | —                        | 13,245千円                       |
| 未払事業税                     | 910千円                    | 6,595千円                        |
| 未払社会保険料                   | 1,167千円                  | 2,389千円                        |
| 退職給付費用                    | 769千円                    | 843千円                          |
| 資産除去債務                    | 1,106千円                  | 1,067千円                        |
| 貸倒損失                      | —                        | 19,607千円                       |
| 繰延税金資産小計                  | 67,771千円                 | 54,352千円                       |
| 評価性引当額                    | △56,725千円                | —                              |
| 繰延税金資産合計                  | 11,046千円                 | 54,353千円                       |
| 繰延税金負債                    |                          |                                |
| 圧縮積立金                     | △7,125千円                 | —                              |
| その他有価証券評価差額金              | △42,640千円                | △35,984千円                      |
| 繰延税金負債合計                  | △49,765千円                | △35,984千円                      |
| 繰延税金資産 (負債) の純額           | △38,719千円                | 18,368千円                       |

(金融商品に関する注記)

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社は、健全な経営を持続する上で借入をせず自己資本を厚くし、万が一に備え内部留保しておくことを基本としています。

また、デリバティブ取引については、先物為替予約取引に限定しており、主に為替の変動リスクを回避するために、将来の棚卸資産の購入計画の範囲内で行う場合があります。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク並びにリスク管理体制

金融商品の内、営業債権の受取手形及び売掛金については、顧客の信用リスクに晒されておりますが、当社では売掛債権については毎月モニタリングし、取引先ごとの期日や残高を管理しております。また、毎年取引状況の確認と同時にその状況に沿って取引信用保険を付保し、一定のリスクを最小限に抑える体制をとっております。

投資有価証券については、市場価格の変動リスクに晒されているため、定期的に経理部より取締役会において時価の報告を行い、保有状況の見直しが行われる体制となっております。

保証金・敷金は主に本社の賃貸借契約によるものであり、当契約先企業等の信用リスクに晒されております。

営業債務の買掛金については、商品代金及び部品等原材料代金のほとんどが外貨建てであるため、為替変動リスクに晒されておりますが、必要に応じ外貨建債務に係る為替の変動リスクに対するヘッジを目的とした先物為替予約取引を実施しております。

なお、ヘッジ会計に関するヘッジ手段とヘッジ対象、ヘッジ方針、ヘッジの有効性の評価方法等については、前述の(重要な会計方針に係る事項に関する注記)6. 重要なヘッジ会計の方法 をご参照ください。

デリバティブ取引についての基本方針は、取締役会で決定され、社内管理規程に従って取引の実行及び管理を行っております。また、デリバティブの利用にあたっては、信用リスクを軽減するため、信用度の高い金融機関と取引を行っております。

債務の支払期日について、買掛金は仕入決済のほとんどが輸入時の即時決済であるため、いずれも1年以内の短期の債務となっております。

## 2. 金融商品の時価等に関する事項

2025年1月20日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりです。

|        | 貸借対照表計上額<br>(千円) | 時価<br>(千円) | 差額<br>(千円) |
|--------|------------------|------------|------------|
| 関係会社株式 | 161,881          | 161,881    | －          |
| 保証金・敷金 | 27,244           | 27,950     | 706        |
| 資産計    | 189,125          | 189,831    | 706        |

- (注) 1. 「現金及び預金」、「売掛金」、「買掛金」及び「未払法人税等」については、短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、記載を省略しております。
2. 「保証金・敷金」の「貸借対照表計上額」及び「時価」には、敷金の回収が最終的に見込めないと認められる部分の金額（資産除去債務の未償却残高）が含まれております。
3. 市場価格のない株式等は、上記に含めておりません。当該金融商品の貸借対照表計上額は以下のとおりであります。

| 区分    | 貸借対照表計上額<br>(千円) |
|-------|------------------|
| 非上場株式 | 28               |

## 4. 金銭債権の決算日後の償還予定額

|            | 1年以内<br>(千円) | 1年超5年以内<br>(千円) | 5年超10年以内<br>(千円) | 10年超<br>(千円) |
|------------|--------------|-----------------|------------------|--------------|
| (1) 現金及び預金 | 1,441,110    | －               | －                | －            |
| (2) 売掛金    | 212,187      | －               | －                | －            |
| 合計         | 1,653,297    | －               | －                | －            |

### 3. 金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項

金融商品の時価を、時価の算定に係るインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の3つのレベルに分類しております。

レベル1の時価： 同一の資産又は負債の活発な市場における（無調整の）相場価格により算定した時価

レベル2の時価： レベル1のインプット以外の直接又は間接的に観察可能なインプットを用いて算定した時価

レベル3の時価： 重要な観察できない時価の算定に係るインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数利用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

#### (1) 時価をもって貸借対照表計上額とする金融資産及び金融負債

| 区分     | 時価（千円）  |      |      |         |
|--------|---------|------|------|---------|
|        | レベル1    | レベル2 | レベル3 | 合計      |
| 関係会社株式 | 161,881 | －    | －    | 161,881 |
| 合計     | 161,881 | －    | －    | 161,881 |

#### (2) 時価をもって貸借対照表計上額としない金融資産及び金融負債

| 区分     | 時価（千円） |        |      |        |
|--------|--------|--------|------|--------|
|        | レベル1   | レベル2   | レベル3 | 合計     |
| 保証金・敷金 | －      | 27,950 | －    | 27,950 |
| 合計     | －      | 27,950 | －    | 27,950 |

(注) 時価の算定に用いた評価技法及び時価の算定に係るインプットの説明

関係会社株式

関係会社株式（上場株式）は相場価格を用いて評価しております。上場株式は活発な市場で取引されているため、その時価をレベル1の時価に分類しております。

保証金・敷金

その将来キャッシュ・フローを返還予定時期に基づき、国債の利回り等適切な指標で割り引いた現在価値により算定しており、レベル2の時価に分類しております。

なお、「時価」には、敷金の回収が最終的に見込めないと認められる部分の金額（資産除去債務の未償却残高）が含まれております。

(収益認識に関する注記)

1. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

カテゴリー別、顧客の所在地別に分解した収益の情報は、次のとおりであります。

(単位 千円)

|        |                       | 2025年1月期<br>(自 2024年1月21日<br>至 2025年1月20日) |
|--------|-----------------------|--------------------------------------------|
| カテゴリー別 | 乳児・知育・構成玩具 (注1)       | 1,503,818                                  |
|        | メイキングトイ               | 49,606                                     |
|        | その他 (遊具・乗り物・育児等) (注2) | 141,821                                    |
|        | 海外販売・ロイヤリティ収入         | 220,382                                    |
|        | 合計                    | 1,915,624                                  |
| 地域別    | 日本                    | 1,695,242                                  |
|        | 米国                    | 118,494                                    |
|        | その他                   | 101,888                                    |
|        | 合計                    | 1,915,624                                  |

(注) 1. 旧「乳児・知育玩具カテゴリー」。

2. 「その他」には2024年1月期まで別掲しておりました「屋内遊具・乗り物カテゴリー」を含んでおります。

2. 顧客との契約から生じる収益を理解するための基礎となる情報

(重要な会計方針に係る事項に関する注記) 5. 収益及び費用の計上基準 に記載のとおりであります。

3. 当事業年度及び翌事業年度以降の収益の金額を理解するための情報

(1) 契約資産及び契約負債の残高等

|               | 期首残高      | 期末残高      |
|---------------|-----------|-----------|
| 顧客との契約から生じた債権 | 371,379千円 | 212,187千円 |
| 契約負債          | 16,550千円  | 5,767千円   |

(2) 残存履行義務に配分した取引価格

当社は、当初に予定される顧客との契約期間が1年以内であるため、残存履行義務に配分した取引価格の総額及び収益の認識が見込まれる期間の記載を省略しております。

(1 株当たり情報に関する注記)

|                                  | 2025年1月期<br>(自 2024年1月21日<br>至 2025年1月20日) | 2024年1月期 (ご参考)<br>(自 2023年1月21日<br>至 2024年1月20日) |
|----------------------------------|--------------------------------------------|--------------------------------------------------|
| 1 株当たり純資産額                       | 486円51銭                                    | 547円52銭                                          |
| 1 株当たり当期純利益又は<br>1 株当たり当期純損失 (△) | △16円46銭                                    | 71円53銭                                           |

# 会計監査人の監査報告書

## 独立監査人の監査報告書

2025年3月10日

ピープル株式会社  
取締役会 御中

ふじみ監査法人

東京事務所

指定社員 公認会計士 渡辺邦厚  
業務執行社員  
指定社員 公認会計士 別所幹郎  
業務執行社員

### 監査意見

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、ピープル株式会社の2024年1月21日から2025年1月20日までの第48期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書（以下「計算書類等」という。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の計算書類等が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類等に係る期間の財産及び損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

### 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「計算書類等の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告及びその附属明細書である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監査委員会の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における執行役及び取締役の職務の執行を監視することにある。

当監査法人の計算書類等に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

計算書類等の監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と計算書類等又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

### 計算書類等に対する経営者及び監査委員会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類等を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

計算書類等を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき計算書類等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における執行役及び取締役の職務の執行を監視することにあり。

#### 計算書類等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての計算書類等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から計算書類等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、計算書類等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・計算書類等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・経営者が継続企業を前提として計算書類等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において計算書類等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する計算書類等の注記事項が適切でない場合は、計算書類等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・計算書類等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた計算書類等の表示、構成及び内容、並びに計算書類等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査委員会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査委員会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

# 監査委員会の監査報告書

## 監査報告書

当監査委員会は、2024年1月21日から2025年1月20日までの第48期事業年度における取締役及び執行役の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について以下のとおり報告いたします。

### 1. 監査の方法及びその内容

監査委員会は、会社法第416条第1項第1号ロ及びホに掲げる事項に関する取締役会決議の内容並びに当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について取締役及び執行役並びに使用人等から、その構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明するとともに、下記の方法で監査を実施いたしました。

- ① 監査委員会が定めた監査の方針、職務の分担等に従い、会社の内部統制所管部門等と連携のうえ、重要な会議に出席し、取締役及び執行役等からその職務の執行に関する事項の報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。
- ② 会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」を「監査に関する品質管理基準」等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

### 2. 監査の結果

#### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 取締役及び執行役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- ③ 内部統制システムに関する取締役会の決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容並びに取締役及び執行役の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められません。

#### (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

会計監査人 ふじみ監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

以上

2025年3月10日

ピープル株式会社 監査委員会

監査委員 森 本 美 成 ㊞

監査委員 伊 藤 拓 ㊞

監査委員 藤 本 明 徳 ㊞

(注) 監査委員森本美成氏、伊藤拓氏および藤本明徳氏は、会社法第2条第15号及び第400条第3項に規定する社外取締役です。

以上



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。